

## 1. 「知識・技能」の評価

## (1) 「知識・技能」の評価規準

- (第3～6学年)「知識」についての「単元の評価規準」は、「内容のまとめり」の知識に関する内容である(ア)、(イ)などの文末を「～を理解している」として作成する。
- (第3～4学年)「技能」についての「単元の評価規準」は、「(A)について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの課程や得られた結果を分かりやすく記録している」とし、(A)を内容のまとめりにおける学習の対象に置き換えて作成する。
- (第5～6学年)「技能」についての「単元の評価規準」は、「(A)について、観察や実験などを目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している」とし、(A)を内容のまとめりにおける学習の対象に置き換えて作成する。

## (2) 評価の視点

- 個別の知識及び技能の習得状況について評価する。
- それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。

## (3) 評価の実際・工夫

- ペーパーテストにおいて、事実的な知識の習得を問う問題と、知識の概念的な理解を問う問題とのバランスに配慮する。
- 実際に知識や技能を用いる場面を設ける。
  - ・ 児童生徒に文章により説明をさせる。
  - ・ 観察・実験をさせたり、式やグラフで表現させたりする。

## 2. 「思考・判断・表現」の評価

## (1) 「思考・判断・表現」の評価規準

- 「思考・判断・表現」についての「単元の評価規準」は、学年で主に育成を目指す問題解決の力を踏まえ、
  - (第3学年)「(A)について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している」
  - (第4学年)「(A)について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を発想し、表現するなどして問題解決している」
  - (第5学年)「(A)について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している」
  - (第6学年)「(A)について、観察、実験などを行い、(B)について、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決している」とし、(A)の内容のまとめりにおける学習の対象に置き換えて作成する。
- (第3～5学年)他の学年で掲げている問題解決の力の育成についても十分に配慮する必要があることを踏まえ、第3～5学年では、「(A)について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している」とし、(A)を内容のまとめりにおける学習の対象に置き換えて作成する。
- (第6学年)他の学年で掲げている問題解決の力の育成についても十分に配慮する必要があることを踏まえ、第6学年では、「(A)について、問題を見だし、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している」とし、(A)を内容のまとめりにおける学習の対象に置き換えて作成する。

## (2) 評価の視点

- 知識及び技能を活用して問題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。

## (3) 評価の実際・工夫

- 論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現等の多様な活動を取り入れる。
- ポートフォリオを活用する。

### 3. 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

(1) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準

- (第3～4学年)「主体的に学習に取り組む態度」について「単元の評価規準」は、以下の※1～※3の視点を踏まえ、「(A) についての事物・現象に進んで関わり※1、他者と関わりながら問題解決しようとしている※2」「(A) について学んだことを学習や生活に生かそうとしている※3」とし、(A) の内容のまとまりにおける学習の対象に置き換えて作成する。
- (第5～6学年)「主体的に学習に取り組む態度」について「単元の評価基準」は、以下の※1～※3の視点を踏まえ、「(A) についての事物・現象に進んで関わり※1、粘り強く※1、他者と関わりながら問題解決しようとしている※2」「(A) について学んだことを学習や生活に生かそうとしている※3」とし、(A) の内容のまとまりにおける学習の対象に置き換えて作成する。
  - ※1 粘り強い取組を行おうとする側面
  - ※2 自らの学習を調整しようとする側面
  - ※3 理科を学ぶことの意義や有用性を認識しようとする側面

(2) 評価の視点

- ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面を評価することが求められる。

(3) 評価の実際・工夫

- ノートやレポート等における記述
- 授業中の発言
- 教師による行動観察
- 児童生徒による自己評価や相互評価等

### 4. 単元の評価規準作成 (例示)

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(ア) を理解している。</li> <li>・(イ) を理解している。</li> <li>・(A) について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A) について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。</li> <li>・(A) について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(A) についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</li> <li>・(A) について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</li> </ul>

【第3学年B(2)「太陽と地面の様子」の評価規準(例)】

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日陰は太陽の光を遮るとで、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。</li> <li>・地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることを理解している。</li> <li>・太陽と地面の様子について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽と地面の様子について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。</li> <li>・太陽と地面の様子について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽と地面の様子についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。</li> <li>・太陽と地面の様子について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</li> </ul>

- ※(ア)、(イ) は、知識に関する内容を示している。
- ※(A) は、内容のまとまりにおける学習の対象を示している。
- ※(B) は、その場面で追究する学習内容を示している。